

山の大尉

【訳詞】牧野文子
【作曲】イタリア民謡

山の大尉は傷ついた 部下の山岳兵達に
「もう一度ここで逢いたい」と
息たえだえにことづけた

□□□

山岳兵はことづけた
「靴がないので歩けない」
「靴をはいてもはかんでも
山岳兵に逢いたい」と

陽はさし昇る山の朝
山岳兵は訪れた

「大尉殿何の命令です
われらはここに着きました」

「私の体を五つに

切ることを命じます

初めのそれは 皇帝へ

部下の兵士の記念にと」

「第二のそれは連隊に

大尉であった記念にと

第三のそれはわが母に

息子の兵の思い出に」

「第四のそれは愛人へ

わが初恋の思い出に

最後のそれは山々へ

ばらで山をおおうため」

山の大尉 1

【訳詞】牧野文子

【作曲】イタリア民謡

□□■

山の大尉は傷ついた

部下の山岳兵達に

「もう一度ここで

逢いたい」と

息たえだえにことづけた

山岳兵はことづけた

「靴がないので歩けない」

「靴をはいてもはかんでも

山岳兵に逢いたい」と

山の大尉 2

【訳詞】牧野 文子
【作曲】イタリア民謡

陽はさし昇る山の朝

山岳兵は訪れた

「大尉殿何の命令です

われらはここに

着きました」

「私の体を五つに

切ることを命じます

初めのそれは 皇帝へ

部下の兵士の記念にと」



山の大尉 3

【訳詞】牧野 文子
【作曲】イタリア民謡

「第二のそれは連隊に
大尉であつた記念にと
第三のそれはわが母に
息子の兵の思い出に」

「第四のそれは愛人へ
わが初恋の思い出に
最後のそれは山々へ
ばらで山をおおうため」